

## 第2学年題材指導計画

# 声をきき合ってきもちをこめて歌おう（7時間扱い）

### 1 題材のねらい

発音や声の出し方に関心を持ち、自分の歌声に気づいて歌ったり、声を揃えて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。

歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら、表現の仕方を工夫することができるようにする。

### 2 教材について

(1)「山びこ ごっこ（作詞 おうちやすゆき 作曲 若月明人）」A(1)ア A(2)イ A(2)ウ

範唱と模唱を繰り返す各フレーズは、自分の呼びかけを確実にまねる山びこのおもしろさに気づいて、あれこれと感の違った呼びかけを試みる様子が描かれている。こうしたフレーズをさまざまな歌い方で表現することによって、表情豊かな歌い方をするための素地づくりをしていきたい。

(2)「パートナーソング

～きらきら星（作詞 武鹿悦子 フランス民謡）+ かすみか雲か（作詞 勝 承夫 ドイツ民謡）」  
A(1)ア A(2)ア A(2)ウ A(3)ア B(1)ウ

古くから知られた「パートナーソング」のひとつで、二つの旋律がよく似ている。同じ旋律が一瞬ずれる緊張感やその瞬間的な響きの美しさを楽しむことができる楽曲である。低学年なので、2曲を合わせてみるというおもしろさを感じ取れるようにしたい。

(3)「エール！！（作詞・作曲 美鈴こゆき）」 選択教材

平易な旋律、自分や友達を励ます歌詞の内容で、子どもたちが親しみやすい楽曲である。リズムカルな感じの前半部、レガートな気分を味わえる後半部、「ほら」の呼びかけに向かい、歌詞と旋律のかかわりを楽しむことのできる後半部と、曲想の変化もとらえやすい。学年の終了を迎えるにあたり、様々な思いをふりかえり、みんなで歌う喜びを味わいたい。

(4)「See You！（作詞・作曲 風琳）」 選択教科

前向きで明るく伸びやかな歌唱曲である。卒業や学年の終了の時期に合った歌詞の内容で、一緒に過ごしてきた友達を思いながら歌うことができる。拍の流れに乗って、リズムカルに歌えるようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への関心意欲 態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価	声の出し方に関心をもち、歌う楽しさを味わっている。	歌詞の内容にふさわしい歌い方を工夫している。	拍の流れに乗って、声を揃えて歌っている。	歌い方のよさを感じ取りながら、友達の歌声を聴いている。
学習活動に おける 具体的な 評価規準	<p>曲のイメージをつかみながら楽しんで聴いたり歌ったりしている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>身体表現をしながら2つの旋律を組み合わせたりして歌う楽しさを味わっている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>身体表現をしながら重ねる楽しさを十分に楽しみながら歌声に興味・関心をもち、進んで明るい声で歌おうとしている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>常に明るい表情で</p>	<p>強弱の工夫をして、曲想に変化をつけている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>表情豊かにさまざまな歌い方を工夫して</p> <p>歌詞の表す気持ちを想像しながら歌い方を工夫している。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>歌詞の内容を詳しく想像工夫の仕方を発言</p>	<p>友達との声の重なりを感じて歌っている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>無伴奏で美しく遠くへ響く柔らかい声で歌っている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>友達に届くように</p> <p>拍の流れに乗って、声をそろえて歌っている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>表情豊かに</p>	<p>明るい声の出し方や表情のよさに気付いて、友達の表現を聴いている。 〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>自分の歌声に生かそうとして</p>

## 4 指導と評価の計画（7時間扱い）

： 取り扱い項目

： 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	題材の 評価規準	指導要領と の関連	内容のまとまり との 関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>《山びこ ごっこ》 曲の感じをとらえて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の気分を感じ取りながら，範唱を聴いたり，範唱に合わせて歌ったりする。</li> <li>・やまびこのイメージをとらえさせる。</li> <li>・山びこの体験を話したり山びこごっこをしたりして，身体表現や声だし遊びをしながら，山びこのイメージをつかむ。</li> </ul>	ア -	A ( 1 ) ア					行動観察 歌唱聴取 身体反応 発言 身体表現
2	<p>歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人やグループで交互唱をして、強弱の変化、声の出し方などの歌い方を工夫する。</li> <li>・「まねっこあそび」をする。</li> <li>・「まねっこあそび」の仕方を知る。</li> <li>・互いの声を聴きながら，好きな言葉や声の出し方を工夫して呼びかけたり，表情を感じ取ってまねたりして楽しむ。</li> </ul>	イ -  ア -	A ( 2 ) イ  A ( 2 ) ウ					行動観察 歌唱聴取 身体表現

3	<p>《パートナーソング》 「きらきら星」と「かすみか雲か」を全員で歌う。 ・教師の範唱を聴く。 ・発声に気を付けながら、声をそろえて歌うようにする。 2曲を組み合わせて歌う。 ・2曲を続けて歌う。 ・輪唱風に歌う。</p>	ア -  ア -	A ( 3 ) ア  A ( 2 ) ウ				歌唱聴取 身体表現
4	<p>グループごとに練習して発表する。 ・友達と声の重なりを楽しみながら練習する。 ・グループごとに発表する。 ・2曲の旋律が重なり合うおもしろさを感じながら、友達のよさを見つけ合う。</p>	ウ -  エ -	A ( 2 ) ウ  B ( 1 ) ウ				歌唱聴取 発言
5	<p>《エール！！ / See You》 選択曲全体の感じをつかんで歌う。 ・範唱を聴いたり、範唱に合わせて歌ったりする。 自分の声に気を付けながら歌う。 ・曲の気分や拍の流れを感じながら発声に付けて歌う。</p>	ア -  ウ -	A ( 1 ) ア  A ( 3 ) ア				歌唱聴取 表情観察
6 ・ 7	<p>《エール！！・See You》 友達の声を聴き合いながら、気持ちを込めて歌う。 ・グループごとに声をそろえて歌う練習をする。 ・グループごとに歌声を発表し、アドバイスし合う。 ・友達の歌声のよいところを自分の歌に生かす。 ・歌詞の表す気持ちを想像しながら歌う。 ・互いに声を聴き合いながら、声をそろえて合唱する。</p>	ア -  エ -  イ -  ウ -	A ( 3 ) ア  B ( 1 ) ウ  A ( 2 ) ア  A ( 2 ) ウ				歌唱聴取 表情観察 発言